【授業科目】 医学概論 Introduction to Medical Care

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
山口 央輝	1年次前期	必修	1	15	講義	なし	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対する フィードバック方法	<p>授業概要／臨床検査技師を目指す者に、医学、医療の概要を教授する科目である。高度化する医療ニーズに対応した検査情報の提供を実践する為、臨床検査の基礎となる技術、臨床栄養、病態薬理、認知症などの検査、救急や病棟、在宅など様々な現場で行われる臨床検査、及び疾病の成因を系統的に理解させることを目標とする。また、多職種とともにチーム医療に参加させ、他の医療専門職分野の知識も概説し、横断的な視点を持つ臨床検査技師としての在り方を教授する。学生には、毎回の授業内容に対する感想、意見をレポートとして提出させ、最終回にはこれまでの授業内容に対する発表を行ってもらう。一般教養の倫理学、生命倫理学、および少子高齢化論との関連が深く、これらの科目もよく学修しておく必要がある。課題に対するフィードバック方法／提出された課題・レポートにはコメントする事でフィードバックを行う。</p>							
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー①「臨床検査の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき臨床検査を実践できる。」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>①健康の概念、医学の歴史、医療倫理に関する概要を理解し、これらの内容について自分の考えを述べることができる。 ②移植医療・再生医療などの先端医療、高齢者医療・緩和医療など現代に求められる医療に関する概要を理解し、これらの内容について自分の考えを述べることができる。 ③チーム医療を中心としたこれからの臨床検査に関する概要を理解し、これについて自分の考えを述べることができる。</p>							
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<p>十分な授業時間が得られないため、各自で渡された資料をよく読んでおくこと。(30分) 新聞等をよく読み、医療に関する記事に関心をもつようにするべきである。 ※上記時間については、指定された学修課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自修全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回 健康の概念 第2回 医学の歴史的遍歴 第3回 検査技術の歴史 第4回 医療従事者の倫理 第5回 移植医療、再生医療、遺伝子治療 第6回 高齢者医療、緩和医療、チーム医療、在宅医療 第7回 これからの臨床検査(将来の展望) 第8回 まとめ</p>							<p>全て 山口</p>
評価方法 評価基準	<p>試験(90%)、受講態度(10%)で総合的に評価する。</p>							
教科書	『学生のための医療概論 第4版』 医学書院 クエスチョン・バンク 臨床検査技師 2026			参考書等	講義の中で適宜紹介する			
学生へのメッセージ	<p>医学、医療の概要を学ぶ科目であり、これからの専門基礎科目および専門科目を履修する上での基盤となる。毎回の授業を真剣に聞き、自分の感想、意見をレポートとして提出し、自分の考え方を築くべきである。また、チーム医療の一員となるべき者としての心構えを持つ必要がある。</p>							